

国内外で植林活動に取り組んでいます



インドネシアの「カワイの森」植林活動

ピアノをはじめとした楽器には多くの木材や天然素材が使用されています。このため、創業 80 周年記念事業として 2007 年にカワイグループ社員の有志により設立されたカワイの森育成会（河合弘隆会長）は、カワイグループの地球環境憲章の基本理念に則り、CO₂ の吸収源の確保、樹木が伐採された土地に森林を再生すること、持続可能な木材資源の確保を目指して、インドネシア現地法人とインドネシア森林公社との連携のもと、海外生産拠点のあるインドネシアにおいて植林活動を行っています。

2018 年までに 500ha の土地に約 56 万本の植林を行いました。ほとんどの樹木が順調に成長しています。試算では「カワイの森」により年間 8,000ton 程度の CO₂ の吸収効果があり、カワイグループ全体の CO₂ 排出量の 30% 程度を吸収しているものと考えています。

また、2017 年からは海の水質浄化機能・津波の防波堤機能が見直されているマングローブ林の再生活動の取り組みも始めました。2018 年度までに、約 4 万 8 千本の苗木を植えています。これらインドネシアでの活動は今後も継続していきます。



インドネシアの「カワイの森」に植えられた木々

被災地の海岸防災林再生支援のための「カワイの森」植樹活動

カワイの森育成会では、4 年前より東日本大震災の津波により流失した海岸防災林の再生を目指す林野庁の『「みどりのきずな」再生プロジェクト』に参加してきました。東北森林管理局と協定を結んで海岸防災林の再生植樹から保育までを継続して取り組んでいます。2019 年 5 月には JR 仙台駅の東方海岸沿いにある荒浜地区で、宮城県緑化推進委員会と協力して、宮城県森林インストラクター協会の指導の下、海岸防災林の再生支援として「カワイの森」植樹を実施しました。

植樹当日には、宮城県内のカワイ音楽教室・カワイ体育教室の生徒の皆さまと保護者の方々、カワイ仙台及び教室の講師、宮城県緑化推進委員会、宮城県森林インストラクター協会の皆さま、総勢 90 名で 313 本の抵抗性クロマツの苗木を植樹しました。天候にも恵まれ楽しく実施することができました。植樹終了後は、クラフト教室も開催し、木のぬくもりにも触れていただき有意義な時間を過ごすことができました。引き続き樹木の生長を見守っていきます。



植樹会の様子